

●1月11日と12日 八幡市旧小学校横の堤防の木津川希少種 除草業務を行いました。

ここは昨年の刈り取る時期には葎が背の高い状態に成長しており、葛がそれに絡みついて大変繁茂していました。それでハンマーモアが刈り取ることが能力的に全面的に使って使用できないので半分の幅で刈り取りました。ところが除草時はまだ緑が残っていましたが、約1ヶ月後の本日、レーキ（鉄製の大型の熊手）でかき集めると、小さく細かくなっていると思っていた草が実はつながっていて、簡単に人力では集めきれなくて、苦労しました。夕方17時を過ぎてようやく軽トラックに積み込み作業が終わりました。作業を行っていただいた皆さんが自宅に戻られたのは18時を過ぎたころになって、家族の方々から「こんな寒い時期に外が真っ黒になるまでの仕事をしていたのですか」との会話が合ったとお聞きしました。本当にご苦労様でした。ここは春一番早くイヌナズナが花ひらくところです。枯草が残っていないように特に気をつけなければ行けない場所なのです。



●地域説明会会場と開催日が決定

里山の会が調査観察維持などを行ってきた活動発表と南山城の自然環境の一部を紹介させていただいています。

1月21日（土）宇治市大久保
京都府勤労者福祉センター
2月4日（土）八幡市御幸橋
国交省さくらであい館
2月11日（土）京田辺市三山木
南部まちづくりセンター
2月18日（土）木津川市加茂町
加茂文化センター
※いずれの会場も13：00を予定しています。

展示物予定

◎山城の歴史と木津川 ポスター24枚
◎現代の川普請ポスター 6枚
◎木津川の草花・4月5月の花 ポスター10枚
◎木津川の魚 ポスター3枚
◎イタセンパラの復活 ポスター5枚
◎里山農園紹介 ポスター2枚
◎レンジャー報告 ポスター2枚（予定）

当日発表のプログラムによってお話とスライドを上映します。内容は日替わりの予定。

●京都府立植物園での学習講演会のお知らせ 主催 雲ヶ畑・人と自然の会

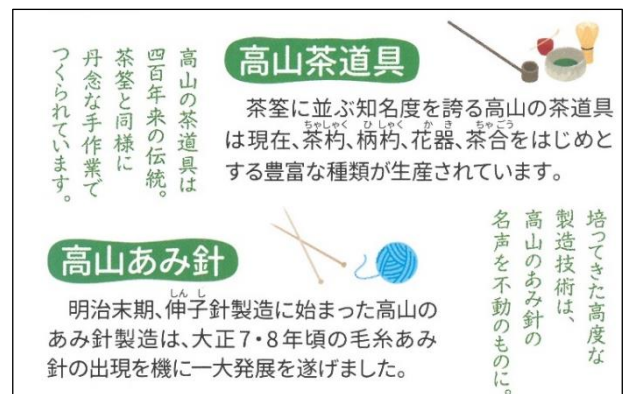
1月29日（日）京都府立植物園 13：00～16：00 京都市北部の自然豊かさとその利・活用を通して環境保全の大切さを考えるとして「京都府レッドデータから読み解く 京都府の自然生態系と鴨川源流」と題して里山の会の顧問をお願いしている光田重幸先生が研究者としてお話になります。多くの皆さんのご参加を期待しています。

ほかに雲ヶ畑・足谷 人と自然の会の山本真理子氏が自然活用の具体的な取り組み、府立植物園の平塚健一氏が希少種保全と府立植物園の役割、武田薬品工業株式会社京都薬用植物園の太田己翔氏が地域の保全団体と取り組む生物多様性保全活動について報告をされます。そして京都府から自然環境保全課から木林理氏が京都府の行政の課題についてのお話が予定されています。入園料は規定にしたがってお支払い下さい。講演会費は無料です。

●奈良県生駒市の「高山竹林園」に行きました。

里山の会ではプラスチックごみ対策として近頃小さなサインペン（プラスチック製）があちこちで使用され、使い捨てのようにされている現状から、自然素材を使用して小さな取り組みを始めようとして、竹島さんやら木下さんに試作をお願いしてきました。試行錯誤して手持ちの工具を使って100本の試作品の作成に成功していただきました。その過程で原材料の竹の細工がカギだとなって先日「茶筌の

里」を訪ねましたところ、茶筌生産を続けているところは数件存在するけれど、茶筌の原材料の竹は九州地方から受注しているらしいとのことでした。以前（何十年前）には伸子針の生産が大量に作られていたのでその生産工具が残っていないののだろうかと話しかけましたが、かなり以前のことなのでということでした。竹から打ち抜く工具が見つかるとう助かるのですが…。



●春の講演会の講師依頼中 全国でも両生類＝サンショウウオの研究者は数えるほどしかおられないとのことらしいです。その中でも京都大学では素晴らしい研究がされていた松井先生が退官されて、そのあとを引き継いでおられるのが今回お話をお願いしている西川完途先生です。野村さん（教師を定年退職されて京都大学で学んでおられる）から日程調整が成立できれば春の里山講演会「自然と環境講演会」3月4日の講師にとお願いしています。開催場所は京田辺市中央公民館を予定しています。

●小川芳也さんの松江通信 No. 16

川底や河岸を構成している水中の土砂について考えたいと思います。流速の大きい小さいが土砂にどのような影響を与えますか？例えば、人が野外に直立不動でいたとします。そよ風ではびくともしませんが、強風では風に負けて動かないように踏ん張りませんか？流れるプールや波があるような水中で直立不動の態勢を維持しようとする流れや波に負けないように踏ん張りませんか？この直立不動の態勢を妨げようとする力のことを抵抗と呼びますが、陸上では風の抵抗・水中では水の抵抗を受けています。踏ん張りが効かない大きな抵抗が発生すると、ふらふらして直立不動を維持することが出来なくなります。水中の土砂も同様に、流速が大きくなるほど土砂を動かそうとする力も大きくなり、土砂が静止できる限界を越えると土砂は動き始めます。この点についてもう少し詳しく説明を加えます。この続きは次回に…

●太田敏之さんの小笠原旅行日記 ～2日目 2022年11月27日 日曜日～

午前11時に父島の二見港に到着です。私はNHK BSでサッカーのワールドカップの録画を到着直前まで見ていたので、父島の二見港に近づく様子は見ていませんでした。港で宿舎の人に迎えてもらい車で宿舎へ。昼食は近くのラーメン屋でタンメンを食べ、小笠原ビジターセンターを少し見て、小笠原観光協会で、翌日はシーカヤック、翌々日は母島へ行くことに決めました。海に入るつもりはなく水着を持ってきていなかったの、近くのお店で水着を購入しました。午後はおが丸パックのオプションで頼んでおいたバスでの半日観光です。マイクロバスに10人ほど乗り、父島の主な観光地などを見て回りました。観光協会でもらってきた「自分で行けるマップ」が非常に役立ち、いくつかの展望台、電波望遠鏡、植物園など、ほぼ父島の主だったところを見て回ることができました。